

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : 4R-タウ線維化タンパク質(P301L変異体)
製品番号 : TAU02 (メーカー略号: CSR)
構成品名 : 4R-タウ線維化タンパク質(P301L変異体)
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

注意書き

安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

応急措置

皮膚に付着した場合:多量の水と石けんで洗うこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
「13. 廃棄上の注意」を参照。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	官報公示整理番号
アジ化ナトリウム	0.1	26628-22-8	1-482

上記以外の成分 : Recombinant Protein(1µg/µL), 生理食塩水

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

保護具着用の上ウエス等で回収し、オートクレーブ処理で不活化する等、感染性廃棄物として適切な処分を行う。「13. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(注意事項)

皮膚や眼との接触や吸入を避けること。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

4℃で保存すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として)

0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

ばく露防止

設備対策

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：データなし

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常取り扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

高温

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

通常の保管および使用条件では有害な生成物は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質

アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

皮膚腐食性 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

発がん性

(アジ化ナトリウム)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性: データなし

生殖毒性: データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露): データなし

誤えん有害性: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

水溶解度

(アジ化ナトリウム)

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)

残留性・分解性

(アジ化ナトリウム)

直接測定(HPLC)による分解度: 1% (既存点検)

生体蓄積性

(アジ化ナトリウム)

log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

オートクレーブ処理 (134°C・20分)、もしくは SDS(3%以上) を加えてオートクレーブ処理 (121°C・20分) を行う。条件を満たせない場合は、「感染性廃棄物」の取り扱いに従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類: 非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な手配の場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。